

## 私たちの信仰と希望は 神にかかっている

教団代表 岩上祝仁



「あなたがたは、キリストを死者の中からよみがえらせて栄光を与えられた神を、キリストによって信じる者です。ですから、あなたがたの信仰と希望は神にかかっています。」（第一ペテロ一章21節）

第22次総会のためのお祈りを感謝いたします。コロナ渦中で始まったこれからの総会期三年間、教団運営委員会が主イエス・キリストに対する信仰とビジョンをしっかりと掲げて、主のみ旨の道を知恵深く進むことができるようにお祈りください。コロナ禍で多くの方々が病に倒れ、傷ついています。教会の営みも、伝道の働きも大きく制限され、これからも戦いは続くことでしょう。イマヌエルの皆さまの祈りを結集し、主の知恵と力をいただいてこの難局に立ち向かい、信仰によって乗り越えて行きたいと願っています。

信仰の根拠は十字架と復活

私たちは自らの信仰の根拠をどこに置いているでしょうか？ 聖書は、私たちに独り子を与えてくださった神の愛、キリストの十字架と復活がその根拠だと語ります。自らの罪の現実と神の救いの恵みの理解が深まるほど、私たちの信仰は強くなっていくのではないのでしょうか。罪のために滅ぶべき私たちがキリストの十字架によって救いの恵みを受けている霊的事実こそが信仰の根拠です。まず、この信仰の根拠である十字架経験が私たちにとって確かなものとなりますように。

復活こそが救いの希望

私たちはこの世の悪の力、罪の現実や直面する困難に圧倒されそうです。新型コロナウイルスとその影響は私たちのあり方を大きく変化させてしまいました。問題が大きく闇が深いほど、私たちは希望を持つことが困難になり、キリストを信じていても大丈夫なのかと悩みます。しかし、キリストの復活とそれをもたらした神の愛と全能の力を知る時、罪や死をはじめ、この世のあらゆるものが最終的にはキリストの足元に置かれ、ついに救いが完成するその日が来るのだと納得できるようになります。今、さまざまな困難に直面し、苦しんでいる者にも永遠のいのちと復活の希望が与えられているのです。まずキリストが私たちの初穂として死を打ち破り、復活してくださいました。主のご再臨の日に、私たちもまた死を打ち破り、不死を着て、復活の身体で永遠に生きるものとなります。これが福音であり、私たちの希望です。地上のどのような苦しみ、悲しみであっても、それを乗り越えさせる神の力が私たちの内に働いているのです。復活のキリストに希望を置いている限り、この地上の問題や困難で乗り越えられないものはありません。復活の主イエス・キリストこそが私たちの希望の保証だからです。

私たちは困難な時代にあり、問題・課題は教え上げればキリがありません。しかし生ける真実の神、愛と救いの神がおられます。私たちは恐れることなく、信仰によって大胆にこの総会期を進んで行きましょう。

### 目次

- 私たちの信仰と希望は神にかかっている…岩上祝仁…1
- 第21総会期回顧と感謝、第22次総会の報告…2
- 復活の恵み、新教団運営委員、讃美歌について…3
- 海外トピックス、国内教会局コラム、読書のひろば…4
- 西日本ブロック近況と祈りの課題、燭台…5
- 広げた翼…6～8
- 聖宣神学院報…9～11
- 公報、消息…12

# Immanuel

篤いお祈りに支えられ……

### 第21次総会期を振り返って 主の導きに心からの感謝



前教団代表 内山 勝

も、牧師と信徒相互に、敬愛と信頼の関係を育んで行く必要を感じます。信徒たちを育てるのは牧師なのです。まずは、牧師側に更なる意識改革が求められているの言うまでもありません。

#### ■神学院の70周年

神学院は創立70周年の区切りを越えました。節目の記念事業として、大がかりなキャンパス再整備を行いました。とりわけ、廃屋となりかけていた旧女子寮を全面改装して、宿泊可能な研修棟「ペテルハウス」として再生利用を開始しました。教団内外の方々によって有効利用されていることは感謝です。この事業のために、神学院後援会が感謝献金の呼びかけをしてくださり、多くのものがさげられたことも感謝でした。

9年間院長として尊いご労をくださった河村從彦先生から林正弘先生へと交代しました。これからの神学院がどのようにあるべきなのかを、再考すべき時を迎えています。理事会制は実現には至りませんでした。共有している諸課題を乗り越えるための道を探り求めることが急務です。

#### ■経験したことのない災害

この三年間は、かつて類のないほど、多くの災害に見舞われました。旧来の台風や豪雨、地震に加えて、昨年からは新型コロナウィルス感染によって、ある時期、教会に集まることさえできないような

状況が生まれました。地域差はあるものの、全国的な災害と言えるほど、大きな影響を受けています。教団としては、未曾有の事態への対応が不十分であったことは否めませんが、各教会、教区内教会の連携によって、それぞれが最善を尽くして来られました。私たちはまだ乗り越えたとは言えず、まだその渦中にありますが、今後のために大切な宿題を主から与えられていると感じます。それは、従来の教会の営みに戻ることができれば解決するという考えに立つて、ただ収束するのを待つのではなく、主の新しいみわざを期待し、私たち・教会が新しい塊として変えられることを、主に積極的に祈り求めるべきだということです。

75周年を越えた教団は、このままでは前に進めません。乗り越えるべき負の遺産があります。成熟すべき遅れている分野があります。また、以前から言われているように、牧師不足の加速、兼牧の増加への対応、献身者の興起という大きな課題を抱えています。謙虚にこれらと向き合い、各自が真剣に主のみに出て刷新の恵みをいただく必要があると感じています。冒頭に掲げたことばのように、再び主が御顔を照り輝かせてくださり、今こそ、暗黒の度を増しているこの世界に、生ける主を力強く証しするために、主を見上げて共に立ち上がりましょう。新執行部のリーダーシップを、主にあって期待しています。

### 第22次教団総会の報告

2月11日に対面・オンラインで開催

### 次の世代に期待を込め 新しい教団運営委員会

深川教会 川嶋直行

2月11日(木)午後1時から7時まで、イムマヌエル綜合伝道団第22次総会が、東京・フクラシア品川クリスタル3階会議室で開催されました。総会代議員62名のうち、会場に集ったのは26名(教職17名、信徒9名)、オンライン参加は35名(教職18名、信徒17名)欠席1名でした。Zoomによる傍聴は最大49でした。

開会礼拝は、岩上国内局長により詩篇五〇、五一篇が開かれ、梅田昇代議員が祈りを捧げました。林条例審議委員長より、第1号議案「条例改正案」が説明され、承認されました。続いて、第2号議案「第21次総会期報告」は代表、各部署長から報告があり、質疑応答(要望)が行われました。①ハラスメント問題への継続的な取り組み、②コロナ禍において、教団からの情報発信や、牧師間での情報交換の機会を設けること、③ザンビアの宣教師の引退に伴い、現地の宣教師館は当面、イムマヌエル教団が管理し、根廻宣教師、富

澤宣教師がその業務にあたること、④インターネットによる宣教報告配信の要望、⑤青年部の集会参加の方法としてQRコードを使って申込むシステムについて、青年の自主性を尊重するとともに、異端の侵入などを防ぐ意味からも牧師が青年の参加を把握できるようにとの要望、⑥人権委員会の役割の条例における明確化とハラスメントの認定には第三者委員会による検証が必要との意見等が出されました。以上、第2号議案は承認されました。内山代表により、これまでハラスメントによって傷ついた方々への謝罪と祈りが捧げられました。第3号議案「代表選挙」について、選挙管理委員長より、岩上祝仁代議員が38票を得て代表に選出されたことが報告されました。新代表の按手がなされた後、4名が局長等選考委員会に指名されました。第4号議案「第22次総会期」の方針が発表されました。事務年會が続くことを懸念し、一体性が失われることを懸念し、今年年會の開催方法に工夫が必要との要望が出され、第4号議案は承認されました。

その後、岩上新代表により、14名の新しい教団運営委員ならびに、常置委員長と監事が発表され、議場は拍手をもって迎えました。

最後に、内山前代表により、詩篇六七篇が開かれ、北田代議員が祈りを捧げました。岩上新代表の祝福をもって第22次総会が締めくくられました。

# イースターの 思い巡し 主は復活された!



WGM宣教師  
ブランドン・久芳

復活の確かさをもって励ましています。パウロの言葉を要約すると、もしイエスさまの復活がなければ、イエスさまの生涯も、私たちの信仰生活も意味のないものとなります。復活は、信じられないけれどもイエスさまを良い教師と信じている人もいます。しかし復活がなかったらなら、イエスさまは敵を愛そうとして、最後に殺された悲劇の人となってしまいます。

「しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。」(1コリント一五・20)

私が以前、CSで主の復活について教えていた時のことです。私は復活についてとてもうまく説明できたと思えました。一人の女の子が真剣な顔でこう尋ねました。「イエスさまはゾンビなの?」私は「違うよ。イエスさまは、私たちより確かないのちを持っているんだよ。イエスさまが復活されたから、すべてが美しく、完全な喜びとなったんだよ」と答えました。パンデミックが起きる前から、人々は死に関心を持っていました。映画のゾンビは人気がありますし、教会のすぐ近くの葬儀場の存在は死に向き合うように促してきます。そして昨年からコロナ禍の大きな試練は、心の中にしまっていた恐れや不安を露わにしました。パウロは手紙の中で、復活に対して疑いをもつクリスチャンたち

## 第22次教団総会人事 新教団運営委員 を紹介します

- 代表 岩上祝仁  
国内教会局 大兼久芳規  
世界宣教局 田辺寿雄  
総務局 寺村秀嗣  
教育局 小川宣嗣  
信徒局 斎藤純雄  
聖宣神学院 院長 林正弘  
ブロック・アドバイザー 細田恒太郎  
北日本 佐藤信行  
関東南 浜田耕三  
中部 葛田聡毅  
西日本 阪下謙  
南日本 古川恵子  
女性牧師部 里村佳子  
信徒運営委員 里村佳子

- ▽常置委員会  
人事委員長 岩上祝仁  
財務委員長 寺村秀嗣  
厚生委員長 里村佳子  
会堂委員長 寺村秀嗣  
条例審議委員長 葛田順子  
教職試験委員長 小川宣嗣  
神学・宣教研究委員長 葛田崇志  
人権委員長 南場安正  
災害対策委員長 葛田直毅  
選挙管理委員長 川村和臣  
▽監事 矢木良雄  
内山勝

総務局長 寺村秀嗣

## 出版事業部から インマヌエル讃美歌の 今後をお話します



出版事業部 葛田直毅

「『インマヌエル讃美歌』の在庫がありません」と聞かれ、教団の公用讃美歌がなくなるのかと驚かれた方もおありかと思えます。

「『インマヌエル讃美歌150』を発行しました。これに含まれている讃美歌は、

▽教団の教会の中で使用頻度の高い讃美歌の調査結果をもとに、  
▽『教会福音讃美歌』で採用、口語化されたものを除き、



▽特に聖別会や聖歌隊の使用する曲などを中心に選んだものです。  
▽ページの表記は歌詞版を含むもので見やすくなっています。  
▽不適切な表現、歌にくい箇所をいくつか直しました。(イ420番、659番など)  
コロナ禍のためにリモートの礼拝をされている教会もまだ多くあることでしょう。パワー・ポイントなどを用いて讃美されている教会もあるでしょう。「歌詞版」もまだ十分在庫がありますのでご利用ください。意味をより深く味わって頂けると幸いです。

またこの機会に『教会福音讃美歌』により親しんでいただくこともよいでしょう。新しい訳と以前の訳を歌い比べてみてください。全曲ではありませんがCDも5枚発行されています。収録されている曲数は85曲、イースターやクリスマスなどの讃美歌を集めたCDもあります。各2750円(税込)です。いのちのことは社の通販サイトWINGSから購入できます。

インマヌエル讃美歌の譜面を作り直す作業(『インマヌエル讃美歌150』と同じページの譜面)を今後も継続し、経済的なことなど、いくつかの問題をクリアーして、将来どこかで再版できれば、と願っています。実際の作業にかかりましたら先生方や信徒の方々のボランティア奉仕もお願いすることになるかもしれません。

なお、お祈りとご協力をよろしくお願いいたします。

国内教会局から

心を新たにして  
年会の月を迎えましょう



教報が届くころには緊急事態宣言が解除されていることを切に願っています。まだしばらく新型コロナウイルスの影響が続くと思われませんが、教会の活動に主のみ守りを祈ります。

年会の大きな目的は教団と教会の1年間の活動報告、聖会などを通しての霊的な扱い、そして任命です。牧師の任期は1年ですから、教会の働きをすべて終えて年會に招集され、そこで霊的に扱われます。そして継続でも転任でも、新たな任命として受け、教会に遣わされます。次のご奉仕のために、主

が私たちを迎え入れて、恵みのうちに取り扱ってくださる年會はとても大きな恵みの場所なのです。4月に新しいスタートを切る方々も多いことでしょう。主は恵みを備えて私たちを霊的に扱ってくださいます。新たに踏み出す方もそうでない方も、心を新たに信仰と希望をもって一歩踏み出しましょう。(阪下)

■ポルトガル議会が安楽死容認法案可決にカトリック教会が反発

パリ発時事によると、ポルトガル議会は1月29日、医師の薬物投与による「積極的安楽死」を認める法案を賛成136、反対78、棄権4で可決しマルセロ・レペロデソウザ大統領の承認を経て成立するが、大きな影響力を持つカトリック教会が強く反発しており、大統領の判断に注目が集まっている。現地紙プブリコ(電子版)は、安楽死を目的とした外国人の流入を阻止するため、18歳以上の精神的に健全なポルトガル国籍保有者と合法的居住者に対象を限定すると報じた。病氣から回復する見込みがなく、極度の苦しみを抱え、複数回にわたり安楽死を要望していることが要件という。

■洗礼後に乳児死亡、肺に水でルーマニア正教会に批判

AFPによると、ルーマニアで洗礼後に生後6週間の乳児が死亡した。検視解剖で、肺に水が入っていたことが分かった。検察は過失致死の疑いで北東部スチャールバ在住の司祭を捜査している。インターネットで、洗礼式の変更を求める署名運動が行われ、4



海外トピックス

した出来事を受け、ルーマニア正教会に儀式の変更を求める動きが強まっている。儀式には、乳児を聖水に3回浸す行為が含まれている。乳児は2月1日、心臓が停止し病院に緊急搬送。数時間後に死亡した。日夜までに5万6千人分の署名が集まった。正教会の広報担当者は、赤ちゃんを水に浸すのではなく、額に少量の水を掛ける方法が可能だと話している。一方、正教会伝統主義の一派を率いるある大主教は、儀式を変更するつもりはないと述べた、という。

■ポーランドで人工妊娠中絶禁止法施行以来抗議デモ続く

英メディアBBCが、ポーランドで、ほぼ全ての人工妊娠中絶を禁止する法律が1月27日施行されたことと報じた。今後は強姦や近親相姦による妊娠や、母体に危険がある場合のみ中絶が認められる。欧州でもポーランドは、カトリック教会の影響が強く、2020年10月、胎児に障害があった場合の人工妊娠中絶を違憲とする判決を憲法裁判所が下して以来、反対の声が強まり、1月27日の施行以来抗議デモが首都ワルシャワなど同国全土で続いている。(平瀬聡樹)

読書の

ひろば



主のための証

李登輝著  
陳銘俊・陳忠正訳  
海鳥社刊、2020年  
注文は福岡教会・國重先生へ  
価格一、五四〇円(税込)

みことばに向き合う生涯

台湾は、歴史的に日本と深いつながりがあり、また私たちの教団から宣教師も送られています。その台湾の総統であった李登輝氏の日誌が邦訳出版されました。李登輝氏は、軍政から民政へのスムーズな移行を成し遂げた指導者として世界的に有名ですが、熱心なクリスチャンでもありました。彼は若い頃は仏道を追っていたそうですが、いろいろと悩んだ末にキリスト教に辿り着いたそうです。彼の座右の銘は「私是不是我的我」で、私とは単なる私ではない、というような意味とのこと。つまり、私とはキリストが

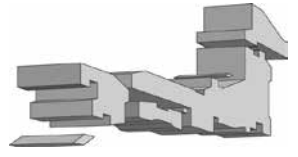


中に生きている私(ガラテヤ二・20)であるという意識の下、人生を進んでいかれたそうです。この本は、彼の日誌の抜粋です。彼は同じくクリスチャンの奥様と毎晩2人でデイポーションの時を持ち、その中で心にとどまった御言葉と思い巡らしを、その日の出来事とともに書いていました。その中から50の出来事の起きた日の日誌が掲載されています。また、彼自身の証し、そして彼の追悼礼拝説教も掲載されています。

翻訳のみならず邦訳出版のために経済的にも大きな負担を引き受けられた陳忠正兄(台北駐福岡経済文化分處長・台湾の福岡総領事)は、日本の政治家やビジネスマンへの伝道の助けに用いられることを願っておられます。大きな困難の中、信仰をもって進んで行った日誌は、神さまを信じ、神さまと歩むことの意味を具体的に教えてくれます。決してドラマチックな本ではありません。いろいろなことが、さまざまな聖句とともに淡々と記されています。けれども、こうした地味で淡々としたものを夫婦で積み重ねていったからこそ、平和裏に軍政から民政へ移行させるという偉業を成し遂げられたのだらうという事は、私にも分かりました。伝道にも有用です。ぜひ一読ください。

なお、自費出版のため、一般の書店では入手できません。ご希望の方は福岡教会の國重までお知らせください。(國重潔志)

# 国内教会局 スクエア



## 西日本ブロックの 近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー  
大兼久 芳規

新型コロナウイルスで、主を見上げつつ各教会の対応がなされています。  
《近畿教区》  
彦根教会では、求道・関係者がこの時期にも与えられ、礼拝の音声によるメッセージが配信されています。

草津教会では、通常の礼拝とともにYouTube配信が並行して行われています。  
京都西教会では、配信による家庭礼拝も大切に、半分ほどの集まれる方で礼拝が守られています。伏見教会では、配信による家庭礼拝と人数制限をしたA、Bグループによる礼拝が会堂で守られています。

枚方教会では、昨年8月に戸谷芳朗先生を天に送りましたが、近隣の教会の応援をいただきながら礼拝が継続されています。  
高槻教会は、コロナ禍の中、礼拝が継続され、枚方教会、西教会の応援にも加わっています。  
王寺教会ではテーマに沿った学びが礼拝でなされ、制限されている集会もありますがZoomによる祈禱会なども開始されています。

高田教会でも、コロナ禍により影響で、出席を控えられる方もおられますが、高齢者の方々が守られるように祈りの中にあります。和歌山教会では、年末恒例のハンドベル・クリスマス・コンサートも事前収録で開催されました。豊中教会は、9時半と11時の二部制の礼拝で、人数を制限して礼拝が守られています。

大阪伝法教会では、通常の礼拝の配信に加え、特伝やクリスマスコンサートも、ネットでの配信がなされています。堺教会は、礼拝の配信が継続され、祈禱会もZoomやLINEで守られています。

神戸教会では7月に岩上輝雄先生が召天をされ、8月に岩上朝子先生が引退をされました。礼拝はYouTubeによる配信が継続中です。  
加古川教会では、一階でも礼拝が聞けるようになり、集えない時は説教原稿送付がなされています。姫路教会では、大きな給水管工事の戦いがありました。集会は礼拝や祈禱会が、配信を利用して行われています。

香川教会では家庭集会で救われる方、召天される方がおられました。礼拝の音声配信が継続中です。高知教会では、田中敬康先生による特集が持たれ、また入信・召天された方がおられました。  
松山教会でも、入信・召天される方がおられ、「荒野のマナ」のプリントで、家庭礼拝が豊かにされています。  
今治教会では、変わりなく礼拝が継続され、経済的な自立にも前進されています。  
徳島教会では、牧師による対面の礼拝は月一度ですが、ライブ配信による礼拝が、教会と家庭で守られています。  
四国聖会は、中止になりましたが、秋には対面での教区会も持たれました。  
《沖縄地区》  
那覇教会では、コロナ禍の中、受洗者も与えられ、礼拝の配信もなされています。  
東風平教会でも、召天された方もおられましたが、受洗された方も起こされています。  
糸満教会では、プリンセル宣教師の召天一周年の特別集会が持たれました。  
対面での秋の教区会、また聖会も持つことが許されました。

われています。  
秋の関西聖会は中止になりましたが、同じテーマ「光の中を歩む〜みことばとともに〜」で、2021年9月に開催予定です。  
《西国教区》



## 余白にこそ恵みが

しばらく前から、パソコンのご機嫌がどうもよくありません。すぐ反応するかと思うと、しばらくシーンとしていて、おもむろに動き出すこともしばしば。最初のうちは、困ったと思って回復方法を検索したりしていたのですが、そのうちに、まあこれでもいいのかも、しれない、と思えてきました。生活にしても仕事にしても「即」が求められ、当然になっている。いろいろな意味で、余地・余白がなくなっている気がしていたからです。すぐに反応しないなら、待つもありなのではないか、と。▼そこで、動くまで待つよ、という気持ちで、そのわずかな時間は別のことに使ってみることにしました。継続課題についても一言祈る。今朝読んだみことばについて考える。教科書だった基本の本を少しずつ読む。すると意外な事に、時間がなくてなかなか、と思っていたことがけっこうできることがわかりました。また、待たされるという、焦りやイライラにつながりそうですが、このすき間のアナログが、かえって心を落ち着かせてくれるだけでなく、ちょっとした余裕さえ与えてくれるという

こともわかりました。▼それでダビデの詩篇を思い出しました。「脂肪と髓をふるまわれたかのように私のたましいは満ち足りていません。…あなたを思い起こすとき：あなたのことを思い巡らすときに。」この詩篇は、ダビデがユダの荒野にいた時に詠ったと言われています。水のない衰え果てた乾いた地を、追われて逃げ惑い、心まで渴いて荒れてしまっても不思議ではない日々。ところがそんな中でダビデは、脂肪と髓を食べさせてもらったようにたましいが満ち足りている、と言っています。いったいどうやって？ その秘訣は、神さまがしてくださったことを思い起こし、神さまのことを思い巡らすことでした。▼ただただ進み続けているだけでは疲れ、殺伐としがちな私たちも、このようなたましいの栄養が必要だとつくづく思いました。それは神さまと

いうお方からでなければ得ることができません。ペースを少しダウンしてでも、これまで神さまがしてくださったことや基本を思い返し、思い巡らす余白を持つ恵み。この余白をこれからも大事に。と思った出来事でした。(葛田順子)

も起こされています。  
対面での秋の教区会、また聖会も持つことが許されました。

も起こされています。  
対面での秋の教区会、また聖会も持つことが許されました。

巻頭言

宣教のバトンを次代に



世界宣教局  
梅田登志枝

「ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。多くの証人たちの前でも教える力のある信頼できる人た



広げた翼

Immanuel  
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

ちに委ねなさい。」

(Ⅱテモテ二：11-12)

宣教師パウロが福音のため労苦する愛弟子テモテを励ますとともに語ったのが冒頭の聖句です。「信頼できる人たちに委ねなさい」と。

▼委ねる重要性

福音宣教の働きは、国内教会、宣教地にかかわらず、信頼された人々がまた次代の信頼できる人々に委ねることを繰り返しながら進んでいくものだと言えるでしょう。宣教師は宣教地での働きを締めくくる時の黄金律と言われる詩を教えられています。「我々の業を彼らがあたかも自らの業の如く誇ったとしても微笑むことを学ぼう。……ただ神にだけ評価されること、ただ、全能者の沈黙の前に満足する、という謙遜を学ぶこと

になる」宣教師の名前や業績は忘れ去られても構わないのです。大切なことは次代に福音のバトンを渡せる人々が育つ働きをすることが重要なのです。

▼次代を育てる必要

主イエス様は3年半に渡り弟子たちを訓練されました。パウロはテモテを信託者として、また伝道者として育てました。さらにテモテはエペソの教会において人々を主の奉仕者として育てたのです。委ねられたならば、次代の人々に任せる必要があります。次代の牧師方を信託し、次代の宣教師方に任せることが重要です。

第22次教団総会で岩上祝仁牧師を代表とする新しい教団運営委員会が活動を開始しました。教団にとっては新しい時代の幕開けと言えるでしょう。今私たちはコロナ禍の厳しさをともに乗り越えようとしている大切な時を過ごしています。これはすべての伝道者、信徒が、次代に伝えるべき福音、主イエス様の十字架のもとに様々な違いを乗り越えて一つになることで福音の力を証しするチャンスでもあります。そのために私たちが次代を担うリーダーたちのために真剣に祈り、支える教団人であることが大切でありましょう。

私たちの置かれた立場で次代の人々を救いに導き育てることに全力を尽くしましょう。そして時が来たならば次代に委ねることができると、今委ねられた福音宣教の奉仕に励みましょう。



CHINA

香港

鹿島義喜・朱蕙芬\* 2021年2月4日

今、香港は今年の春節(旧正月)を前にしています。今年は2月12日が旧正月です。2つの面から報告させていただきます。

1つ目は香港における新型コロナウイルスの感染と社会状況です。例年ならば牧師館の目の前の公園では花市が開かれ多くの人で賑わいます。去年は抗議デモで中止、今年も新型コロナウイルスの感染のために中止が決まりました。しかし、花を育ててきた農家の方々のことを配慮し、規模を半分にして行うことに落ち着きました。もちろん旧正月の花火やインターナショナル・ナイトパレードは中止です。出されている公共の場所での集団制限は、4人が8人に緩和され、一時は宗教的な活動は免除されました。集まったの礼拝も再開されましたが、幾つかの大きな教会の聖歌隊から感染者が起きてしまったこともあり、宗教的な活動の免除も取られてしまいました。人数制限の方も4人から

2人へと厳しくなっていました。今は、レストランなどでの飲食も夜10時までの制限から6時以後は禁止となっています。それによって除夜に持たれている家族の食事会も持てなくなっていました。社会的には、国家安全維持法に関わって多くの課題があり、89年天安門事件・97年中国返還・今回と3回目の海外移住の波が起こっています。引き続き感染拡大の速やかな収束と社会の安定のためにお祈りください。

2つ目は香港イムヌエル教会のことですが、集まったの礼拝が捧げられない中にあっても今年の教会への御言葉(第一ペテロ四章7-8節)を握り12年目の歩みを一步一步進んでいます。1月末に予定していた教会総会も延期されています。教会の中には、お寿司屋の経営者や空手教室の師匠やツアガイドの方などもおられ、経済的な戦いの中を通されておられます。駐在員の兄弟も大陸から日本への帰国ができなくなり、年末年始も含め1年近くも大陸に留まらざるを得ない状態が続いています。しかしそのような中にあっても、集まったの礼拝が持てなくなる前には、主は香港の若い人たちを送ってくださいました。皆で1日も早く礼拝の再開を待ち望んでおります。牧師たちの方も大陸への移動が許されない中、手足がもがれた様な感じですが、身動きが取れません。神さまに全てを委ねつつ、神の時を待ち望みます。



PHILIPPINES  
フィリピン  
豊田常喜・恭子\*2021年2月12日

「幸いなことよ。弱っている者に心を配る人は。わざわいの日に主はその人を助け出される。」  
(詩篇四一篇一節)

今年に入り副校長レニール・サゴッド先生が御夫妻で辞職されマニラにあるナザレン神学大学院に引越されることになりました。奥様アリー先生はそこで教員として働かれます。2人の若い、優秀な先生が辞めることになり学校にとつては大きな損失となりました。さらに、その翌週、学期が始まる直前、本部から会議のために訪問された教育局長アキノ先生から職員に招集が掛けられ、緊急職員会議が開かれました。会議ではアキノ先生によってエペソ四章から勧話があった後、校長アレックス先生が校長を辞任されることが突然報告されました。もともとこの4月の教団総会までの任期だったのですが、まさかこんなに突然辞任されるとは誰も予測していませんでしたし、サゴッド先生ご夫

妻の辞職も合わせ青天の霹靂でした。校長代行には男子寮監ジャンレイ・バルデス先生が代表と局長だけの臨時会議によって選出されました。バルデス先生には突然のことで、受け入れることに戸惑いもあつたようですが、信仰をもつて受け止め、決意を証して下さいました。4月の人事委員会で正式に新校長が選ばれますので、それまで校長代行という立場ですがバルデス先生のために是非お祈り下さい。

新年に入り二学期が始まりました。一学期に履修登録した学生たちのほとんど全員(50名ほど)が再登録しました。早速、オリエンテーションがビデオ会議の形態で開かれました。その会議の中で前期のオンラインクラスについての反省点とこれからの改善点、心構えについても話されました。学生たち一人ひとりの顔を画面越しでも久し振りに見ることができ少しほっとしました。オリエンテーションの最後には辞任された校長アレックス先生と校長代行のバルデス先生が挨拶をされました。今学期、常喜は歴史書、聖書神学、ウエスレー神学の3科目を担当することにになりました。聖書神学は教えるのが初めての科目で準備が大変ですが、準備をしながらたくさん恵みを受けています。この恵みが、学生たちにうまく伝えられ、実践の場で活かせるように教えられることを願っています。また、ウエスレー神学は学生の1人



があと2科目で、現在卒業見込みの学生たちと一緒に卒業できるので教えてもらうことが可能か学監から尋ねられ、喜んで引き受けました。毎週、一対一で講義と対話をしながら授業を進めています。



ZAMBIA  
ザンビア  
ねまわり  
根廻恵子\*2021年2月1日



ZAMBIA  
ザンビア  
富澤 香\*2021年2月1日

早くも新しい年も1か月が過ぎました。日々主に支えられていることを感謝しています。先月号の広報に記載させていただきましたが1月15日のザンビアへの再赴任はザンビアで南アフリカ由来の新型コロナウイルス変異種による感染拡大のために急遽中止になりました。ザンビアのコロナ状況は一時期終息しつつあり、再赴任の見通しがあつたのですが、1月に入り急激に感染が拡大したこと、1月7日にジェンボクリニクの現地スタッフからジェンボ付近で感染が拡大しているという連絡が来ました。このことを受け1月15日の赴任に向け準備をしている中であり苦渋の決断ではありましたが、局と相談のもと中止となりました。その後ジェンボでもクリニクススタッフを含めコロナ感染者が出たことを聞きました。街のみならず村にも感染が拡大しているようです。ジェンボ、ザンビアの人々のために祈りください。

ついにペンバの町そしてジェンボにもコロナ感染者が出たということで、医療水準の低い中でのリスクが大きすぎることを考え、1月15日の渡航が延期されました。次の渡航は現在のところ未定です。頭では理解できていたのですが、気持ちではなかなか受け入れられるのが難しく、ボーっとしてしまったりする時もありましたが、だんだんとこの事実を受け入れつつ今この時を過ごしております。ジェンボ(ザンビア)ではコロナについて薬をはじめマスクなど必要物品も限りがあつておりますので、祈りの中に覚えております。ジェンボクリニク、ジンバ病院、そしてザンビア国と人々のために続けて皆様にもお祈りをお願いいたします。私は今、日本の寒さ冷たさに驚きつつ(寒い地方の方々には大変申し訳ないことですが)日本になんとか順応できるよう過ごしています。常日頃のお祈りに感謝しつつ。



KENYA

ケニア・テヌウェク

蔦田就子\*2021年2月13日

12月恒例のWGMケニア教会会  
は、Zoom開催でした。規制の  
中ですが、車の修理と各科カレン  
ダーとダイアリーの必要があり期  
間中ナイロビに出ました。カレン  
ダーとダイアリーは、計算間違い  
で手術のない日に予定が組まれな  
いように1日できる適正な量の  
予定が組まれるように、2000  
年の赴任当初から日本の献金をも  
とにサポートしているもの。車の  
方は、前回依頼した大手の不誠実  
な対応が露呈。パーツの入手の都  
合で滞在予定が2日ほど伸びまし  
たが、無事終了。カレンダー等も  
年内に入手、生活用品や食品の補  
充もでき感謝でした。

23日再出勤。医長から長期勤務  
者の表彰式がある旨に招待を頂き  
出席。例年は病院関係者全員が招  
待され、クリスマスのお祝いと、  
5年目から5年毎の勤務者の表彰  
に拍手喝采。今年は規制により表  
彰者のみ出席。20年の実感が無い  
ほどに守られつつ、客観的には非

常に長い期間支えていただいた皆  
様に心より感謝申し上げます。  
支えられると言え、郵便規制  
の間を縫って、今年もクリスマス  
スカードの「束」を頂きました。  
感謝です。手術室としても短くク  
リスマスを記念。日本、ポランティ  
アの先生方、出入り業者さん等か  
らのボールペンに少し足し、12月  
のテーマ「感謝」に準じて他の病  
棟から頂いたキャラメルもギフト  
として配りました。

24日の午後から25日の朝までの  
心臓外科手術のため、ライブでの  
ライブ礼拝、クリスマス礼拝は参加  
できず。代わりに25日の昼過ぎ帰  
宅後から録画で参列、日本各地か  
ら教えて頂いたクリスマスの録画  
の集会に出席でき感謝。

ボメット地域での医療従事者の  
ストライキは続行中。予定手術の  
前日入院ができないほど病棟は満  
杯。準緊急、緊急手術であって  
も、病棟が満床——回復室から  
病棟に動けないので回復室が満床  
——回復室が満床で手術室から  
手術の終わった患者さんが回復室  
に移動できないので手術が始めら  
れないという状況が度々発生。救  
急外来で「手術が必要」と言われ  
てから、病棟に移動することも、  
ベッドやストレッツチャーで横にな  
ることもできず、そのまま車いす  
の上で3日過ごしているが、手術  
はいっしょしてもらえないのか、とい  
う問い合わせも、残念ながら度々。  
周辺病院のストライキ早期解決の  
ためお祈りください。

実習生の受け入れも再開。実習  
予定だった病院がストライキ中の  
ためテヌウェク病院でという学生  
も加わりこちらもパンク気味。

汎アフリカアカデミー、クリス  
チャン外科医養成プログラム(P  
AACSプログラム)の卒業式も  
今月。会場入場制限の一方、病院  
のフェイスブックで実況中継があ  
り、勤務中のスタッフも合間に視  
聴。卒業証書授与の時は、会場外  
からも歓声。外科医、整形外科医、  
双方5年間なので、スタッフとは  
長い付き合い。指導医だけでなく、  
色々な職種のスタッフからも技術  
のみならず人格的な面、物事への  
対応の仕方など教わったとスピー  
チで語られ、また直接にお礼を言  
う光景が見られるのもこの頃。心  
臓胸外科医コース第一期生の卒  
業も。心臓胸外科センターは一  
部完成、既に数人の医師が完成し  
た寮に引っ越し。既存の家庭医  
コースに加え、「2040年まで  
に40人の産婦人科医を」という目  
標のもと、産婦人科医コースも始  
動の予定。



■会計報告1月分  
宣教献金 二、八三六、九七五円  
月平均 二、八三六、九七五円

お祈りの課題

- ◆カンボジア(蔦田緑乃)
- ◆KCCの伝道者の霊的確立と召命の起点。聖潔の経験と成長、神にお仕える人生が無類の救いを与えられたことへの感謝とされた献身生涯とされるように
- ◆ヴァンデイ師の御父上の霊的開眼と、聖霊によりイエス・キリストを主と告白する信仰により、新創造がなされるように
- ◆ヴァンデイ師の奥様、テス先生の働きが家から近い場所に導かれるよう、グレグ師の教会員が無実の罪で投獄されているパウロ兄の速やかなる釈放がなされ、生ける神様がクリスチャンたちに証しされるように
- ◆ケニア(蔦田就子)
- ◆周辺病院のストライキが続く中守られた感謝
- ◆ウイリス関連の様々な長期ストレスの中にある患者さん、ご家族、スタッフのため
- ◆麻酔科、整形外科を始めとする働き人(ルカ一〇章二節)が起されるように
- ◆香港(鹿島)
- ◆12年目の歩みの中、一人ひとりに御言葉による霊的成長が与えられ、また新来会者が続けて礼拝に集うことが許されますように
- ◆牧師夫妻の健康が守られ、牧会の働きが支えられますように

- ◆近隣地域への宣教の門が再び開かれますように
- ◆フィリピン(豊田)
- ◆後期のオンライン・クラスが始まった職員と学生たちの健康と靈性的のために。校長代行のバルデス先生のために。常喜は3科目を担当しています
- ◆ウエスレアン教会の霊的、経済的な必要のため
- ◆事故、事件、怪我、災害、病気、疫病から家族が守られますように。常喜の右目網膜の回復のため
- ◆ザンビア(富澤)
- ◆ジエンボの職員の働き、ザンビアが守られますように
- ◆世界のコロナの状況が一日も早く終息に向かうように
- ◆日本に順応できるように
- ◆ザンビア(根廻)
- ◆主の御心が示され、道が開かれますように
- ◆ジエンボクリニックのスタッフ、ジエンボの人々が守られるように
- ◆台湾(平瀬)
- ◆今後の動向と導きのため。宣教師ビザ申請のために
- ◆3/16 午後、光世が本帰国、自主隔離期間(14日)のために
- ◆台中教会の上に、神さまのお支えと祝福がありますように。(義樹が奉仕を継続します)
- ◆緊迫する国際情勢の中、台湾の政治と経済、教育と治安が安定を見ることができるよう
- ◆先に日本に送り出した子どもたちがコロナ禍の中にあっても心とからだ、生活が支えられるように



# 聖宣神学院報



## Immanuel Bible Training College

### 学んで確信したところ

院長 ● 林 正弘

「けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。」(Ⅱテモテ三・14)

学年度を締めくくる時となりました。振り返ってみると、本当に特別な一年でした。入学式なしにスタートしました。授業はほとんどがオンラインの形で行われました。実習も例年とはずいぶん違うものとなりました。それでもそれぞれができることを懸命に行ってきた一年であり、それは、各教会でも同じであったと思います。

思い通りに行かなかったことが数え切れないほどある一方で、新しいことに取り組み、達成感を味

わうこともあったかもしれませんが。そのなかで、私たちは何を学んだでしょうか。外出自粛が呼びかけられる中でふだんできない読書や学びにじっくり取り組むことができたかもしれません。しかし、いくら知識や情報を積み上げたとしても、立派な理論を語ることもできず、また私たちが行動に駆り立てる学びです。信じていればすべてうまく行く、



みずみずしい神学院産レモンです。カラーで見ていただきたい。

という保証はありません。当てが外れたり、裏切られたりすることもあります。真理から逸脱する危険は絶えずあります。たとえ、そのようななかでも、「けれどもあなたは」と語られています。ここにしっかりと立ち続けていけば大丈夫だ、という確信を持つことができたなら幸いです。それは独りよがりの確信ではありません。よく学び、自分で考え、判断することは大切です。しかし、確信の根拠は神とそのことばになければなりません。みことばは私たちを正しい道に導きます。みことばの働きによって、神の人がすべての良い働きにふさわしく整えられます。この確信をしっかりと持ちながら、新しいステージに進んで行きましょう。

### 神学エッセー

## 旧約聖書の視点 1 同時代的視点～旧約を歩く



佐藤信行

昨年度後期に神学院で「旧約概論」を担当させていただきました。至らないことばかりでしたが、背後のお祈りに支えられて、神学生の皆さんと楽しい学びの時が与えられたことを感謝しています。

旧約聖書はご存じのように、新約聖書と比べると、分量では約三倍、扱っている時代、人物、出来事も多岐にわたる、今日の私たちにとって理解するのが難しい箇所もたくさんあります。そのため、知らず知らずのうちに苦手意識が芽生え、聞く、読む、語る、のいづれにしても偏りが生じやすいものです。授業では、そのように旧約聖書が敬遠されやすい側面を十分理解しながら、同時にいかにそこにある恵みをまず自らがよく味わい、また共有できるかを考えて、学びをさせていただきました。

旧約聖書を理解する際に、現代の私たちとの「距離感」というものを正しく意識することが大切です。旧約聖書は、時代や民族、地理や歴史、習慣や考えなど、現

代とは大きく異なる古代イスラエル民族が舞台だからです。ですから、すぐにメッセージとなる聖句や箇所飛びつきたくなくなる思いを一旦は抑えながら、一歩ずつ理解を深めていくことが大切であり、それは同時に曲解や無理な適用などの危険からも守られる道です。

先ほどの「距離感」を縮める第一歩は、可能な限り旧約聖書の記述内容の当時の視点に立つことだと思っています。実は適切な用語を知らないのですが、個人的にはこれを旧約聖書の「同時代的視点」と呼んでいます。今日の私たちの必要や価値判断を一度脇に置いて、まずは聖書の舞台、そこに登場する人物が置かれた状況を理解することを優先します。

ルツ記を例に挙げると、この視点はナオミやルツ、ボアズの視点と言えます。そこには、当時のイスラエルやモアブといった地理的民族的な背景があり、落ち穂拾いや婚姻制度など、当時の習慣も関わっています。さらに私たちはルツ記の結末を知っていますが、ナオミやルツは基本的に先の事は全く見えずにその場にいる心情、不安や恐れを感じ取ります。

これはちょうど旧約聖書の舞台を徒歩で歩くようなものです。結末に向かって最短距離を直進するのではなく、無駄を恐れずに寄り道もしながら、目に入るもの、心に聞こえる声をそこから読み取ります。これが次の大切な視点・理解への土台ともなるのです。

## ◆神学院で学んだこと

## 聖霊による矯正

短期コース 田中利道

「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。」(Ⅱテモテ三・16)

小さな者のために、熱心に祈り支えてくださったことを感謝いたします。また、これからの私の働きのためにも、お祈りください。

一人ではなにもできないからです。神学院の先生方の温かい指導によって、聖書のすばらしさを深く学ぶことができました。ありがとうございます。神学生として多くの失敗をし、人を傷つけ、積義においてずれていると、言われたりもしました。牧会演習の授業で、実習教会での失敗を報告しても、なぜか、先生は非難したりしませんでした。してはいけないと言われたことを、してしまつた過ちは、身にしみて覚えることができました。私は頑固なので、主が正しくくださるまで、自分の信じたことを曲げることがなかなかできません。でも、深くうなずかせていただきながら、教えられ、考えを変えたこともたくさんあります。「助け主、すなわち、父がわた

しの名によってお遣わしになる聖霊はあなたがたにすべてのことを教えわたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてください。」(ヨハネ一四・26)

聖霊さまが私を教え、矯正してくださることを何度も体験しました。聖霊はみことばによって私を矯正し、私の出合うすべての事、すべての人を通して、私を矯正してください。

私の好きな箴言のことばに「鉄は鉄によって研がれ、人はその友によって研がれる」と書いてあります。私の真の友はイエスさまです。すべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となれま

すように、お祈りください。長い間、支え続けてくださった母教会に心から感謝いたします。

## ◆神学院で学んだこと

## 新しい春、新たな感謝

聴講生 金承柱 きむすんじゆ

春の訪れが近づいています。主の恵みの中、学院での後期の学びも締めくくりに差し掛かっております。学院のためにお祈りくださる全ての方々へ感謝申し上げます。善きサマリヤ人の譬え話をされた主が、「行ってあなたも同じよ

うにしなさい。」とお命じになりました。私の召命の御言葉であるこの宣教命令に従って、昨年の春に学院に入学いたしました。誰かの隣人になる宣教的な人生は、私の召命だと思えます。聴講生として一年を終え、次のステップのために祈りしてまいりましたが、私の宣教の召命と牧師としての召命が一致することを悟り、牧会に對する心が与えられました。そのための具体的な実行段階として所属教会の先生とも相談を重ねた結果、今春から韓国の神学大学院への進学を決心しました。韓国の場合、牧師になるためには牧会学

の修士号が必要なのです。今後、韓国における学びの中でも、さらに善き隣人になるために祈り、悩み、働きたいと思っております。現在、邦人伝道(日本人への伝道を含む)に對する思いが与えられており、御心を求めつつ次のステップに進むことにしました。

2030年までの10年の展望について計画を立てましたが、私たち夫婦の人生に様々な変化が起きております。限りなく静かで、急な風のような神の導きを見てそう実感しています。

BTCでの学びを通して、聖書研究に對する熱い思いが育まれ、使命がより明らかになりました。皆様のお祈りに心から感謝いたします。日本人宣教師の方々はもちろん、母教会であるみずほ教会と協力的な関係結び、宣教の働きに従事したいと願っております。

この欠けばかりの小さき者が、聖神学院に温かく迎えていただいたことに心より感謝いたします。

歴史的、政治的な問題で日韓の間に困難な課題が尽きない中、天の都に市民権を置くクリスチャンの連帯は一層切実であると思えます。学院でいただいた愛とご恩に報いるべく、旅人を手厚くもてなす善きサマリヤ人、働き人として全うできるよう努めてまいります。神様の善き力が皆様と共にありますように。心からの感謝を込めて。

## ◆神学院で学んだこと

## インヌエルを心の支えに

聴講生 矢代ゆう

「ことばは人となつて、私たちの間に住まわれた。」(ヨハネ一・14)

「私は愚かで考えもなくあなたの前で獣のようでした。しかし私は絶えずあなたとともにいました。」(詩篇七三・22、23)

新しい年、皆様はいかがお過ごしでしょうか。2021年を始めるにあたり、大変だった去年、そしてこれまでの学院生活を振り返っていました。

私のような者が牧師を目指してよいのだろうか。いつもそう思っ

てきました。そもそもなぜ学院に居させてもらえるのだろうか。そう考えたとき、あれが私のターニングポイントだったと気づかされました。それは2019年春。退学するかアイマスで学院生活を続けるか、究極の選択を迫られたときでした。

10年ほど前から患う眼球使用困難症で、目に光が入ることによる激痛で週の半分は倒れている日々。そこからアイマス生活を訓練し始め、ついに痛みで倒れることはなくなつた。しかしそれは、見えるこの目を諦めることでした。

そこで深く思わされたのが「インヌエル」でした。神はその全能を捨てることもいとわず、私たちと共に生きてくださった。それならば私も、目を主にあずけてみんなど共に生きることができないだろうか。

それを実践した一年は悲惨なものでした。私は恐怖のあまり絶えずイライラし、誰のことも大切にすることができませんでした。相応しくない自分。そして神は、なんとすばらしい方か。あらためて感謝しました。インヌエルを心に刻み、これからは生きていきたいと思えます。与えられた力を、人を組み伏せるためではなく愛するために使うことができますように。へりくだって仕える者に変えられますようにと祈るのみです。

この難局にあつて苦闘しているらっしゃる皆様、今年も共に生きていくことができますように。

いま神学院では……  
教師の思い  
教師 ● 梅田 昇



昨年以来のコロナ禍の中で、Zoomによるクラスを持っていきます。慣れないズームでのクラスですが、小人数なので問題なくクラスを続けています。今期のクラスは「説教」で、説教をいかに準備するか、準備した説教をいかに伝達するか、の2つがクラスの内容になっています。

1 説教の基本を理解  
説教は説教の基本原則を学ぶことです。説教についての優れた著書も多く出版されていることは幸いです。手作りの教科書と藤原導夫師著『キリスト教説教入門』を副読本として用い、学期中で説教に関する書籍を一冊読んで頂くようお願いしています。説教箇所を選択、説教箇所の学びや釈義、アウトラインの構成、例話の用い方、序論や結論のあり方など

の基本的なことを学んでいくクラスです。  
2 説教の実践を体験  
説教を学んだから説教できるわけではありません。クラスの学びに準じた形で、神学生の方々がステップを踏み、説教箇所を選び、学び、アウトラインを作り、例話を加え、序論、結論と実際に説教の形を整えて頂き、クラスの中で演習をして頂きます。緊張の時からかもしれませんが大切な経験です。神学生と教師で互いに長所・改善点についてコメントを出し合い、説教の更なる改善と成長を目指します。

3 説教の学びの継続を  
説教だけではありませんが、クラスの学びだけでは十分ではありません。失敗や困難を味わいながら、多くの経験を積み重ねることがとても大切です。私自身の乏しき、これまでの奉仕の中で与えられた経験などを神学生の将来の奉仕のためにできるだけ紹介しています。それは霊的な投資だと理解しています。  
パウロはテモテに「多くの証人たちの前で私から聞いたことを、他の人にも教える力ある信頼できる人たちに委ねなさい」(IIテモテ二・2)と勧告しています。説教を教える資格や能力はないことを重々理解しながら、いかにもして、みことばの有能な説教者が輩出されることを目指して、クラスを喜びと重荷をもって担当しています。

卒業して米国留学、桜ヶ丘教会を経て、現在は八王子市にある南大沢チャペルで働いています。  
昨夏、がんの闘病の末に、父を天に送りました。悲しさと寂しさは尽きませんが、天よりの希望もいただきました。母が洗礼を受けて以来、父は30年以上も信仰を拒みませんでした。そんな父に神さまがどのように語られたかは、まさしく本人と神のみぞ知ることです。父は亡くなる数か月前に主イエスを信じました。父は言葉少なに信仰を告白し、その日以来、全ての祈りにアーメンと合わせてくれるようになりまし。オンラインでの礼拝と祈禱会にも参加し、みことばを喜んで聞きました。「お父さん、また会います。わたしを信じる者は死んでも生きる、とイエスさまが言ったから……」というのが最後の数週において父と子でよく交わされた会話でした。父は思うように話せない時も、しっかりとうなずき、アーメンと絞り出すように言っていました。お祈りに感謝します。学院時代に赤ちゃんだった息子達希は中学3年生です。

同窓生の近況

59期生

南大沢チャペル ● 飯田 岳



荒野に響く  
預言者の声を聴け  
図書館 三森春生  
新型コロナウイルス感染症拡大は、過去一世紀を振り返り何より勝る世界大の事件となった。疫病(感染症)の流行は聖書の時代から数多く繰り返され、どんな戦争よりも多くの死者を出した。今の時代も原爆投下を含めて2度の世界大戦の犠牲者をはるかに越えている。ここ半世紀に人類は、空間・時間の制約を超え交通・通信の利便を飛躍的に増加させた。情報革命による社会の根本的変容が進む現代、福音宣教をはじめ福音奉仕者の育成、つまり神学校、神学教育などの抜本的な再構築が迫られてはいないか。聖書も讃美歌も時代につれ変わっている。変えてはならないもの、変えるべきもの、選別というぐらいいはすまないほどの危機感を覚えている。

神学院スタッフ…恵みの想起

学苑だより



サポーターズ  
尊いお献げものに心より感謝申し上げます。1月の会計報告をさせていただきます。  
1月分支援実状  
〔今年度毎月献金目標〕  
¥1,500,000  
教会員による  
「神学院サポート献金」  
¥1,587,565  
教会団体による「神学院献金」  
¥648,120  
合計 ¥2,235,685  
その他の献金(一時・特別)  
¥126,000  
・振替：00230-0-10138

●卒業の月を迎えました。ここまでのお祈り・ご支援に心から感謝致します。2名の方が卒業、1名が聴講を終了します。  
●12日(金)の卒業式は、院長が卒業証書を授与する場面を映し出し、参列者はネットで参加できる形で行う予定です。  
●今年もBTCで年会を行うことが許されませんでした。キャンパスが整備されたにもかかわらず、1年お待たせし、さらに1年待つことになりました。お迎えできる時を楽しみにしています。  
●入学式・始業礼拝は4月2日(金)を予定しています。  
●ペテルハウスの宿泊利用再開の目処は立っていません。お問い合わせは学務課の馬場姉まで。  
●後援会世話人の皆さまには、1年間大変お世話になりました。更新の時期を迎えています。引き続きよろしくお願いたします。

# 公報

## 本部通達

「なぜなら主はシオンを建て直しその栄光のうちに現れ窮した者の祈りを顧み彼らの祈りをながいしろにされないからです。このことが後の世代のために書き記され新しく造られる民が主を賛美しますように。」(詩篇一〇二篇16、18節)

第22次総会を越えて、新しい代表が選出され、新教団運営委員会が発足いたしました。今月末にはコロナ禍の中、オンラインによる1日のみの年会が開催されます。新代表のメッセージと教職按手式、議事会が行われます。祝福を祈りつつ、すべてに主の豊かなご臨在と導きをお祈りください。

▼久保光彦師・せきな師は今年年会で平瀬義樹師、光世師に代わり台湾に派遣されます。コロナ禍での移動に主の導きと守りをお祈りいたします。

▼富澤香宣教師、根廻恵子宣教師は今年会で引退されます。

各宣教師方のこれまでの尊いご奉仕に感謝し、これからの歩みに祝福をお祈りいたします。

### 第76次年会

先月号の教報ですでご案内の通り今年度はオンラインでの年会となります。議事会については、限られた人数での開催をご案内

いたしました。傍聴も含め、全教役者がズーム参加できるように準備いたします。

3月25日(木) 午前10時30分

▼新代表メッセージ、教職按手式  
▼YouTubeによる限定配信を行います。中目黒教会からのライブ中継をご覧ください。

配信用のURLを教区主事を通して全国教会にお知らせいたします。

▼議事会 (Zoom会議) 午後1時30分～3時30分

▼年会招集状 (ズーム会議への招集) とともに年会資料を先月25日に各牧師宛に発送いたしました。ご質問などは9日までに本部総務局へお寄せください。

### 財務委員会

すでにお知らせしておりますとおり年会分担当金は実施されません。▼単位法人格を持つ教会は、毎年の法的義務として、毎会計年度終了後4か月以内(本教団の場合、通常4月末まで)に、宗教法人の事務所に備え付けの書類の写しを、各都道府県所轄庁に提出するようお願いいたします。この場合、事務所に備え付けの書類とは、役員名簿、財産目録、収支計算書・貸借対照表(作成している場合)、境内建物(財産目録に記載されているものを除く)に関する書類、事業に関する書類(行っている場合)となります。提出の際、同じ写しを本部総務局宛にもご提出ください。よろしく願います。

### 総務局

教職按手礼試験について再度の

### ご案内

2月号の教報でもご案内いたしました。教職按手礼試験の希望者は3月末までに総務局へ申請書の提出をお願いします。ご相談は各地域担当ブロック・アドバイザーまでお寄せください。

### 世界宣教局

▼平瀬義樹、光世宣教師(台湾)はこの年会を持って国内の任命を受けられ、台中教会には久保光彦、せきな牧師が派遣されます。コロナ感染症の水際対策で台湾への宗教ビザ申請が閉ざされているため、派遣日程は未定です。なお平瀬宣教師はしばらく引継ぎのため台中に、光世宣教師は今日16日に単身で帰国されます。宣教師交代に主の助けをお祈りください。

▼富澤香宣教師、根廻恵子宣教師(ザンビア)は、現地での感染拡大によってさらに再赴任が難しくなったことと諸事情を考慮し、この年会をもって引退されることになりました。お二人は感染状況が落ち着いた時点で現地に赴き、引き続き業務をする予定です。局は今後しばらく、ジェンボクリニックへの協力、宣教師館の維持管理を継続いたします。またお二人のお証しは教団のHPで視聴できます。

### 教育局

▼教育部・生涯学習課  
▼若手牧師研修リモートミーティング (Zoomによる開催)  
日時 3月2日(火) 午後1時半～4時  
テーマ 牧師としていたらい

### な、こんな友達

発題者 田辺寿雄師  
プログラム II アイスペレキング、発題、しゃべり場、ミニセルフケア、閉会礼拝  
▼教育部・信徒教育課

▼各教会で自由に活用可能な信徒向け聖書講座(無料)を提供中。内容 使徒の働き」の学び(現在は第4回まで公開中)  
講師 II 岩上敬人師(丁E A総主事)  
現在は富士見台教会ホームページから視聴して頂けます。(詳細は富士見台教会 II 野田師までご連絡ください。)

▼青少年部・中高生課  
▼とにキャンフェスティバル  
日時 3月30日(火)  
(Zoomによるオンライン開催)  
\*申込方法は、案内書記載QRコードで各自での申し込みとなりますが、その際に各教会の牧師先生にお伝えするパスワードが必要となります。

▼とにキャンスタッフ・トレーニング・キャンプ  
日時 5月16日(日)、23日(日)、30日(日)  
(Zoomによるオンライン開催)

### 信徒局

4月6日(火) Zoomによる  
女性部運営委員会(秋の全国信徒フォーラムについて他)  
4月20日(火) Zoomによる  
壮年部運営委員会(秋の全国信徒フォーラムについて他)

### 聖宣神学院

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇〇CCビル イムマヌエル綜合伝道団本部

▼卒業式は3月12日(金) 午後1時30分からオンラインで行います  
▼在校生の教会実習は3月28日(日)まで、新年度の教会実習は4月4日(日)からです。

▼入学式・始業礼拝は4月2日(金) 午前10時30分から行います。  
▼ベテルハウスについてのお問い合わせは、学務課・馬場師まで。  
▼BTC後援会は「世話人」の更新時期です。引き続きご協力をお願い致します。

第22次教団総会代表選挙結果  
代議員数は62名。内、教職が24名、信徒が24名。職責代議員が14名(教職12名、信徒2名)。  
コロナ禍での緊急事態宣言発令を受け、期日前投票を実施いたしました。発送62通、内、期限内に返送された期日前投票数は62票、無事すべて戻ってきました。

総会議場にて出席された代議員が26名(期日前投票は受付に無効、破棄としました)また、Zoom参加代議員35名+欠席者1名。よって合計36名分の期日前投票を選挙に加えました。総投票数62票。うち有効投票総数62でした。無効票(白票及び複数氏名記入など)はありませんでした。これにより有効投票総数の過半数は32と確定いたしました。

1回目の投票において、岩上祝仁師が有効投票数の過半数(38票)を獲得したので、次期教団代表として選出されました。

選挙管理委員長 宮崎 聖輝

教報PDFパスワード 2160  
発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣  
発行人 東京都千代田区神田駿河台一

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇〇CCビル イムマヌエル綜合伝道団本部  
郵便振替 001107133609  
新生宣教団 定価 一部110円(税込)